小諸市埋蔵文化財発掘調査報告書　第 45 集

市内遺跡 2019

令和元年度小諸市内遺跡発掘調査報告書

2024. 3
小諸市教育委員会

例　言

1　本書は長野県小諸市に所在する埋蔵文化財包蔵地内で令和元年度に実施した、各種開発事業を原因とする発掘調査報告書である。
2　調査は国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金を受けて、小諸市教育委員会事務局文化財・生涯学習課が実施した。
3　調査にかかる組織は次のとおりである。
教育長　小林　秀夫
教育次長　内堀　浩宣
文化財・生涯学習課長　安藤　貴正
文化財・生涯学習係長　鈴木　一枝
文化財・生涯学習係　　髙橋　陽一　　掛川　裕介　　望月　博史　　土屋　千浩
調査作業員　　星野　保彦　　宮本　正　　大和田　誠
4　調査は髙橋陽一、望月博史（文化財・生涯学習課文化財保護担当）が担当した。
5　本書の執筆・編集は髙橋陽一、星野保彦が実施した。
6　調査に関する資料は、小諸市教育委員会の責任下に保管している。
7　調査にあたり、長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課からご指導、ご助言を頂いた。また、施工主や地域の方々には日程調整や発掘調査の承諾等でご協力を頂いた。記して深く感謝する次第である。

凡　例

1　挿図中の略記号は、Tr= トレンチ、SB= 住居址、SK= 土坑を表す。
2　挿図中におけるスクリーントーンは下記のとおりである。

遺構　　: 住居址（SB）　　: 土坑（SK）

: カクラン　　: 地山

3　土層の色調は、『新版　標準土色帖』（1990 年版）に準拠している。

目　次

調査遺跡位置表示…… 2
舟窪遺跡…… 3
宮ノ反Ａ遺跡群…… 5
深沢遺跡群…… 7
三子塚遺跡群①…… 8
三子塚遺跡群②…… 9
上久根遺跡①……11
上久根遺跡②……12
清水駅跡……13
桃野城跡……15
谷地原遺跡群①……16
谷地原遺跡群②……17
柏木原遺跡群①……19
柏木原遺跡群②……20
柏木原遺跡群③……21
柏木原遺跡群④……22
和田原遺跡群①……23
和田原遺跡群②……24

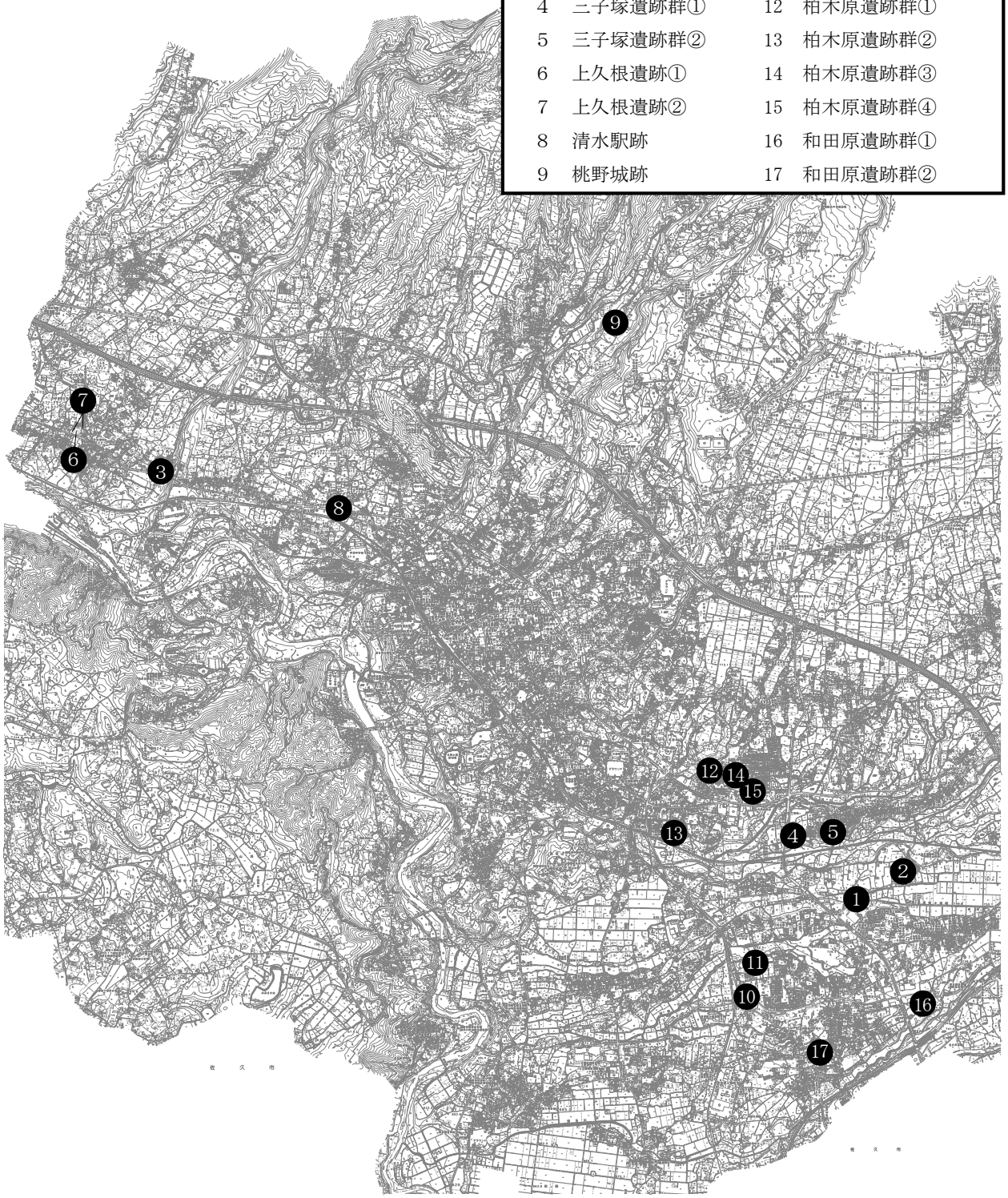
調査遺跡位置表示　１：50,000

本調査

1　舟窪遺跡

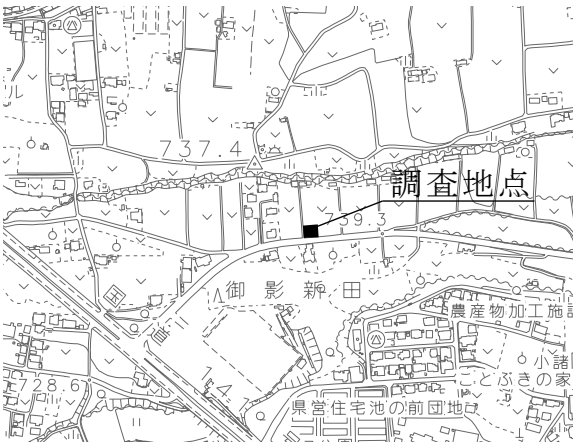
試掘調査

2	宮ノ反Ａ遺跡群	10	谷地原遺跡群①
3	深沢遺跡群	11	谷地原遺跡群②
4	三子塚遺跡群①	12	柏木原遺跡群①
5	三子塚遺跡群②	13	柏木原遺跡群②
6	上久根遺跡①	14	柏木原遺跡群③
7	上久根遺跡②	15	柏木原遺跡群④
8	清水駅跡	16	和田原遺跡群①
9	桃野城跡	17	和田原遺跡群②



本調査

舟窪遺跡

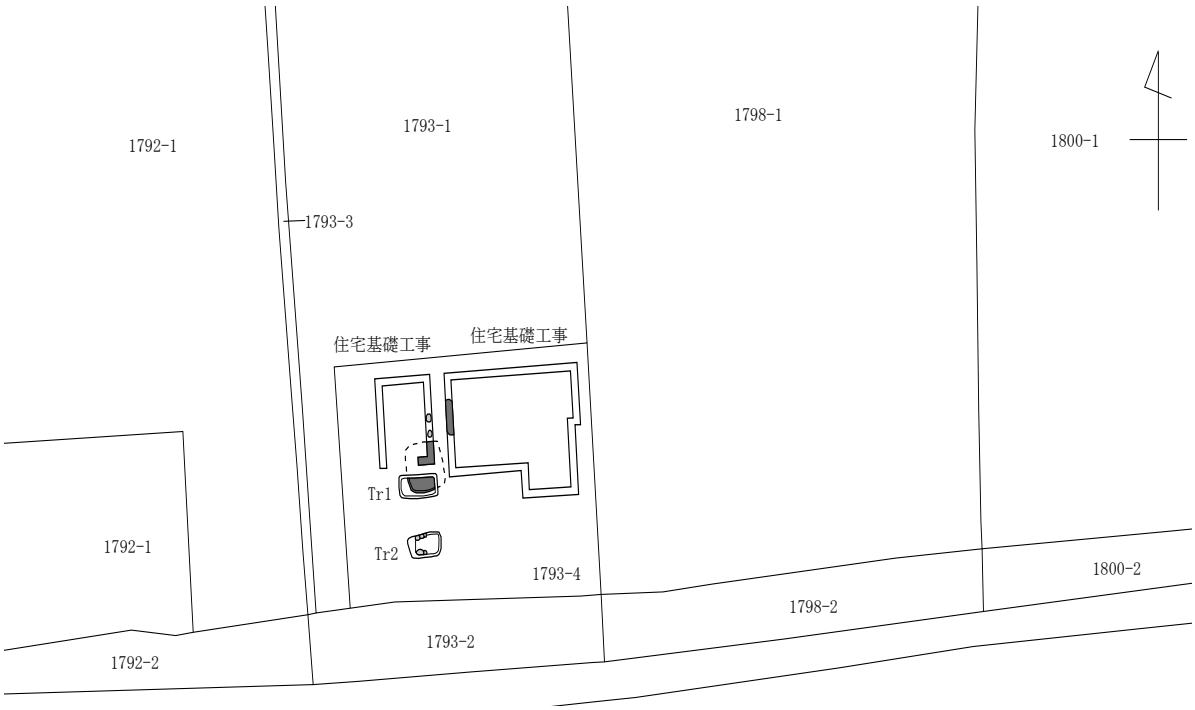


位置図　（1：10,000）

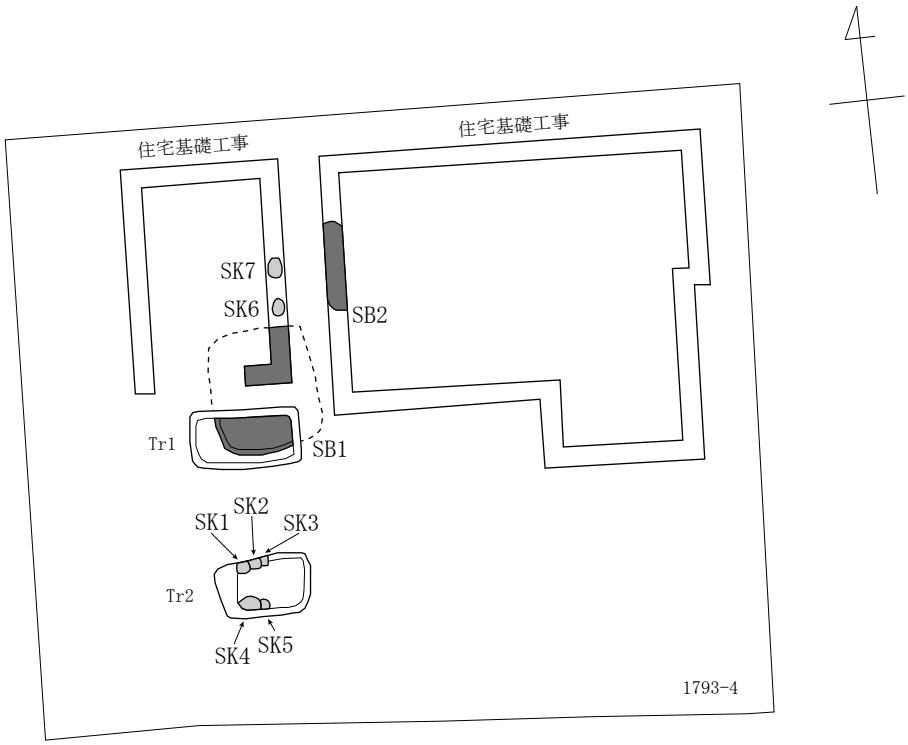
所在地　小諸市大字御影新田 1793-4
事業概要　個人住宅建設
開発者　個人
調査期間　令和元年 11 月８日、11 月 11 日、11 月 12 日、12 月６日
調査面積　8.64 ㎡
検出遺構　竪穴住居址２軒、土坑７基
出土遺物　土師器、須恵器
調査所見

個人住宅の建設に合わせて発掘調査を実施する。浄化槽と附属する浸透トレンチを調査の対象とした。畑の一画で若干の切土がされている耕作放棄地であるが、旧耕作土が現況 GL より 25cm 堆積しており、その下で竪穴住居址１棟（SB1）と土坑５基が検出された。土坑は遺物が伴わないため帰属年代は判断できない。竪穴住居址からは奈良時代前半の土師器や糸切痕がある須恵器片が出土しており、時期幅が大きいが概ね奈良時代の帰属と推測する。

12 月６日、建物基礎の根掘りが実施されることになり、合わせて遺構確認調査を実施する。あらかじめ計画された基礎掘りの深度に到達したところで遺構確認調査を実施したところ、11 月に確認した竪穴住居址の続きと、新たに１棟の竪穴住居址（SB2)、そして土坑を２基確認した。これらの遺構を調査のため掘削すると建物に影響を及ぼしかねないため、位置を記録し現地に保存することにした。SB2 は南北軸が SB1 とそろっており、SB1 と SB2 は概ね同時期のものではないかと思われる。また、今回の調査で奈良時代以外に属する遺物は確認できていない。



全体図　（1：500）



平面図　（1：200）

調査地全景【南より】

SB1 南側（Tr1 で検出）【西より】

SK1、SK2、SK3、SK4、SK5（Tr2 で検出）

【西より】

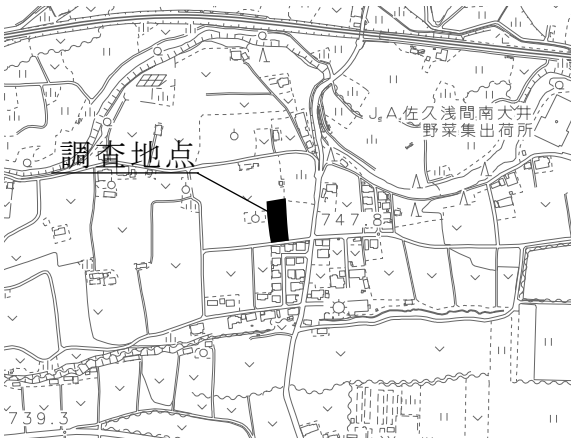
写真左：SB1 北側、SK6、SK7 のプラン

写真右：SB2 のプラン

【南より】

試掘調査

宮ノ反Ａ遺跡群

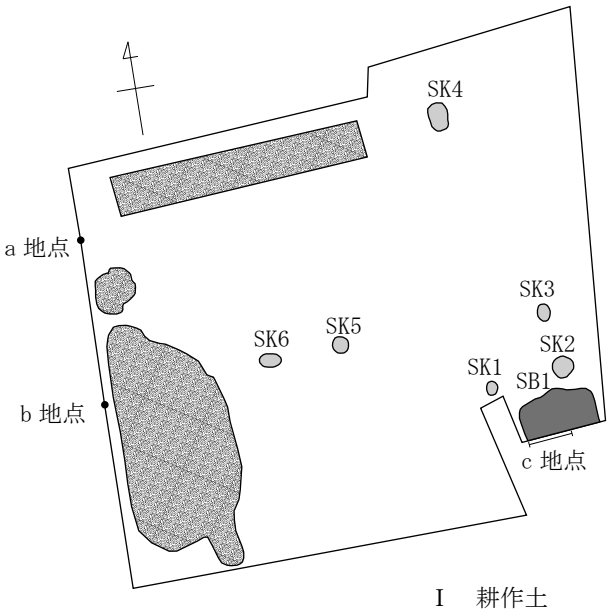


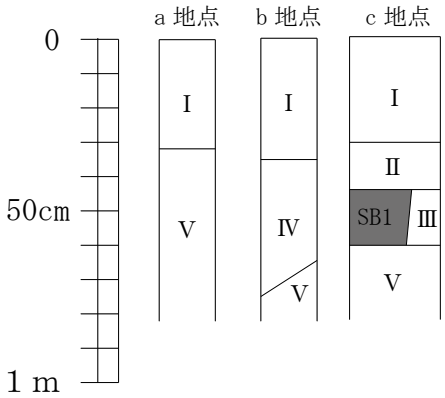
位置図　（1：10,000）

所在地　小諸市大字御影新田 1332-2、1332-3、1332-4、1332-5
事業概要　土地改良
開発者　個人
調査期間　令和元年７月４日～７月５日
調査面積　588.9 ㎡
検出遺構　住居址１軒、土坑６基
出土遺物　土師器、須恵器
調査所見

表土剥ぎ取り後の地表面を精査したところ、奈良時代の住居址１軒、土坑６基が確認された。分布をみると住居址は南東隅で検出されその周辺に土坑が点在する状況で、北方向及び西方向の遺構密度は薄い。西隅は軽石流堆積層の上に埋土の痕跡が認められ、その下にビニールヒモなどが埋まった掘り込みがある。今回以前に大きく攪乱を受けているようである。遺構確認面までの表土の厚さは 30cm ～ 40cm 程度。

全体図　（1：500）





Ⅰ　耕作土

Ⅱ　暗褐色土（10YR3/3）　φ１cm 大の軽石１％　φ１mm ～２mm 大の軽石７％
黒褐色土（10YR3/1）混ざる

Ⅲ　黒褐色土（10YR3/1）　褐色土（10YR4/6）ブロック 15%混入

Ⅳ　黒褐色土（10YR3/1）　褐色土（10YR4/6）ブロック、暗褐色土（10YR3/4）
ブロック、黄褐色土（10YR5/6）ブロックがまだらに混ざる

Ⅴ　浅間軽石流堆積層

平面図　（1：400）

調査地全景【西より】

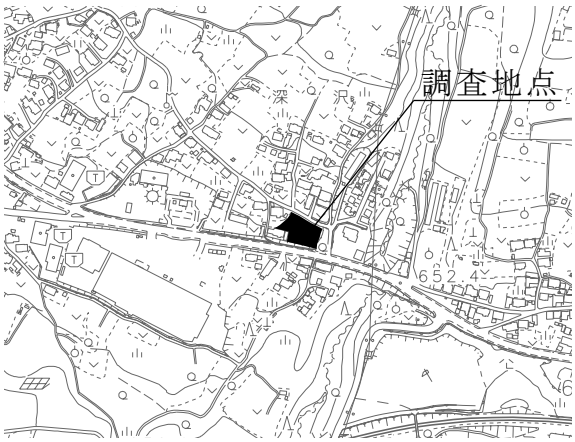
SB1 のプラン【南西より】

SK2 のプラン【南より】

SK5 のプラン【南より】

試掘調査

深沢遺跡群

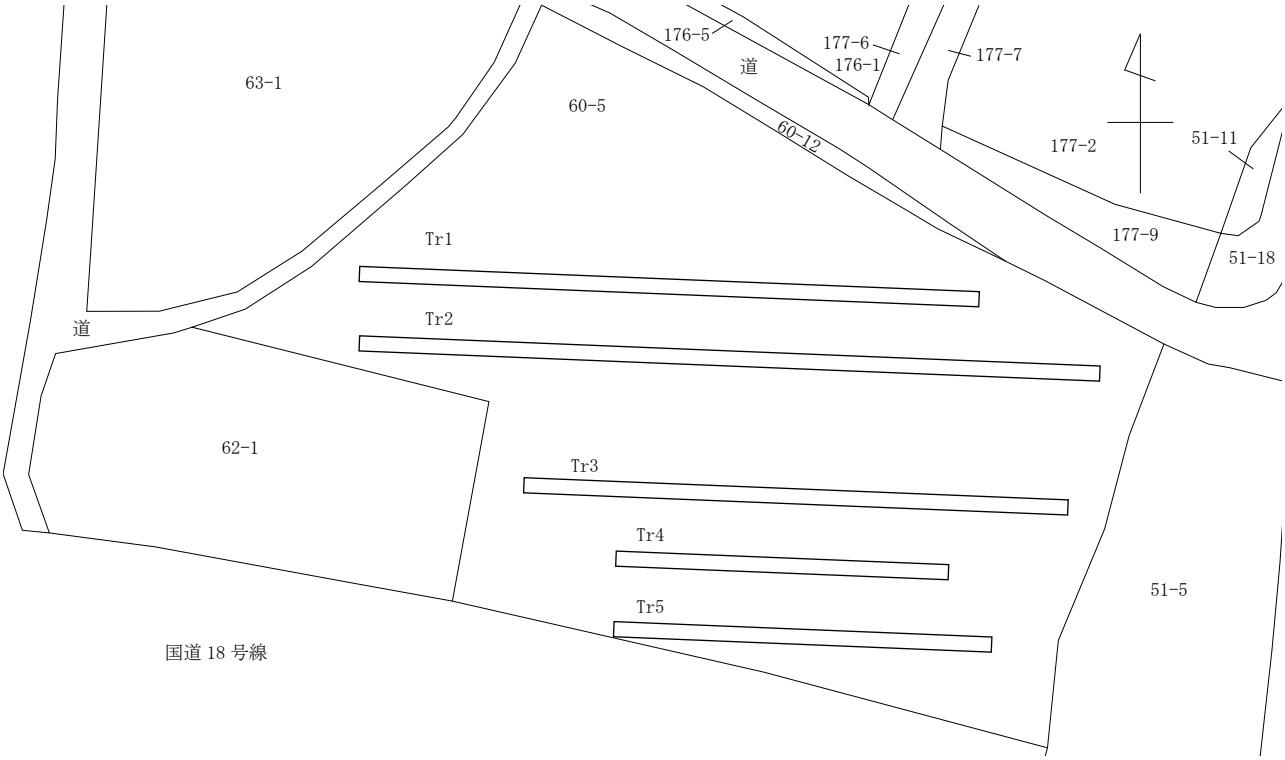


位置図　（1：10,000）

所在地　小諸市大字滋野甲字金卸 60 番 5
事業概要　太陽光発電設備設置
開発者　アネト株式会社
調査期間　令和元年 7 月 23 日
調査面積　173 ㎡
検出遺構　なし
出土遺物　なし
調査所見

太陽光発電設備に付属する浸透側溝を対象に試掘調査を実施する。

現況地表面より 50cm の深さまで掘削したところで計画地盤に到達。巨礫が混じる地山に到達した。計画地盤及び断面で遺構の検出作業を実施したが、遺構は確認できなかった。また、遺物も発見できなかった。



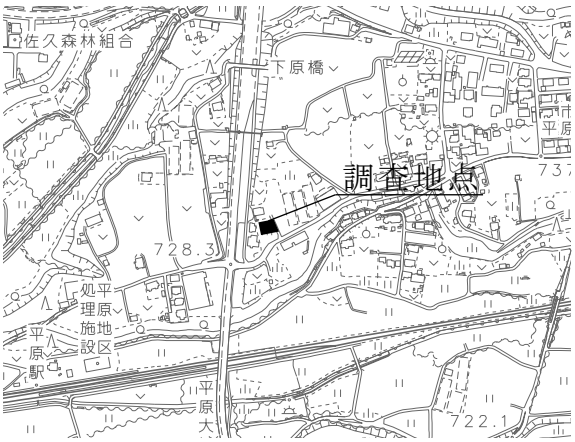
全体図　（1：500）

調査地全景【北西より】

Tr5【東より】

試掘調査

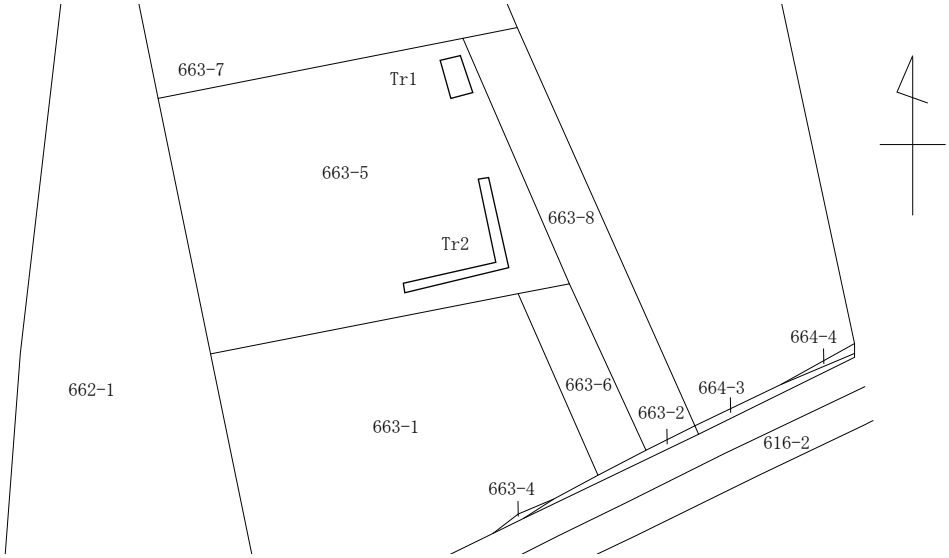
三子塚遺跡群①



位置図　（1：10,000）

所在地　小諸市大字平原字大下原 663 番 5、663 番 6
事業概要　個人住宅建設
開発者　個人
調査期間　令和元年６月５日
調査面積　８㎡
検出遺構　なし
出土遺物　なし
調査所見

工事による掘削予定箇所である合併浄化槽及び配管トレンチ予定位置にトレンチを設定し、重機により掘り下げを行った。現況地表面より 105cm 下で浅間軽石流の層に到達。掘削した層からはビニール片が検出されており、攪乱を受けている。地元業者より、調査地で以前耕作土の入れ替えを行っていたとの情報を得た。



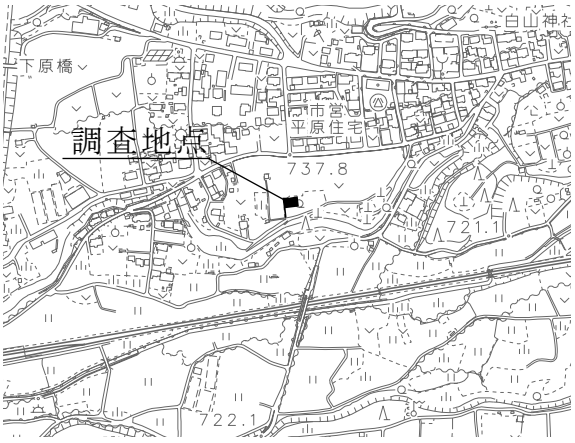
全体図　（1：500）

調査地全景【南より】

Tr1【東より】

試掘調査

三子塚遺跡群②

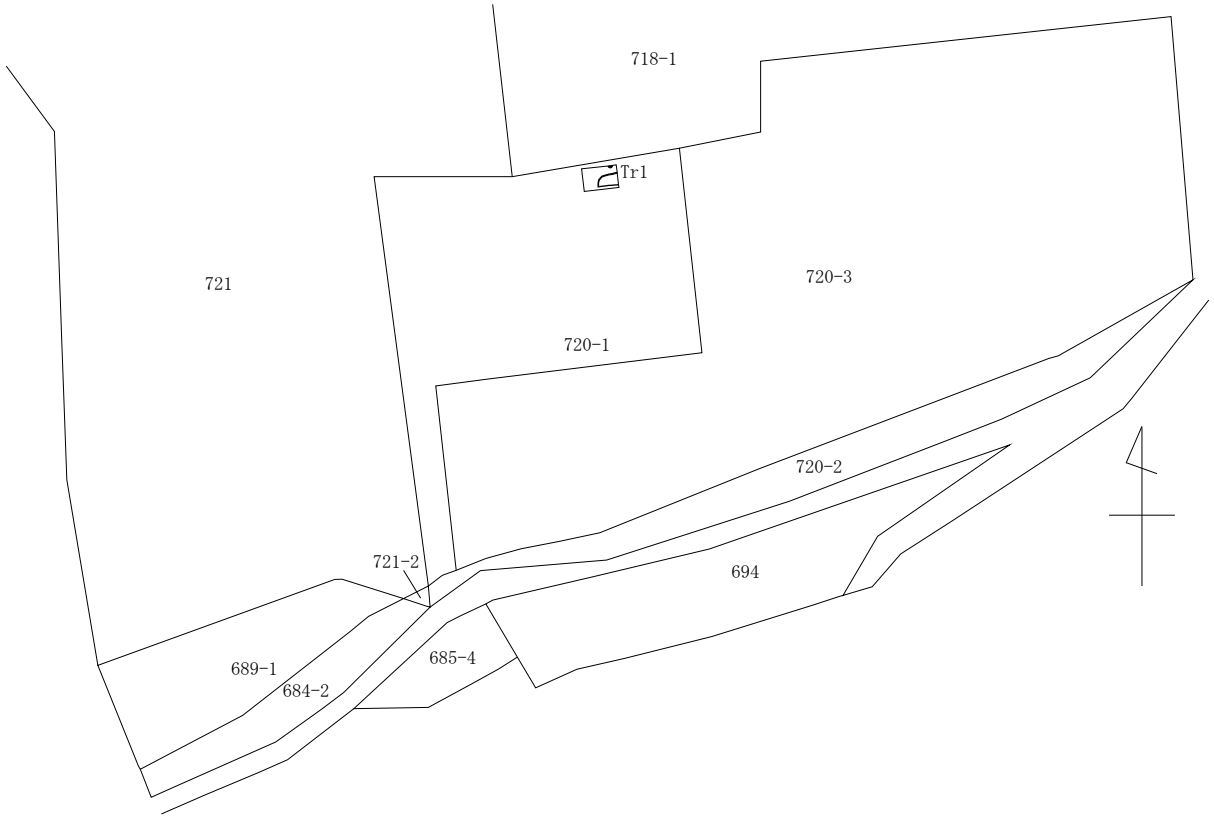


位置図　（1：10,000）

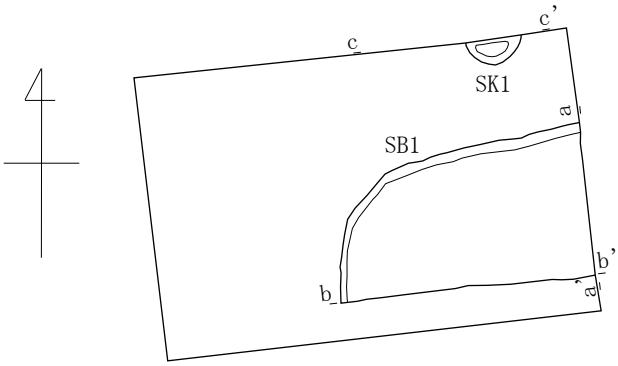
所在地　小諸市大字平原 720-1
事業概要　個人住宅建設
開発者　個人
調査期間　令和２年３月 27 日
調査面積　3.75 ㎡
検出遺構　住居址１軒、土坑１基
出土遺物　土師器、須恵器、陶磁器
調査所見

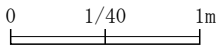
個人住宅の建設に合わせて発掘調査を実施する。浄化槽を調査の対象とし重機により掘り下げを行った。現況地表面より 65cm 下で浅間軽石流の層に到達。本層上面で遺構の検出作業を行ったところ、住居址１軒（建物の北西片）、土坑１基が確認された。土坑は遺物が伴わないため帰属年代は判断できない。住居址からは奈良時代から平安時代に帰属する土師器や須恵器が出土した。

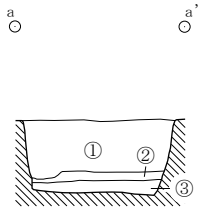
そのほかの遺物としては、遺構外で近世から近・現代の陶磁器が確認された。



全体図　（1：500）

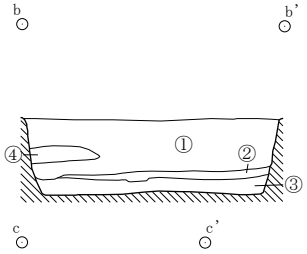






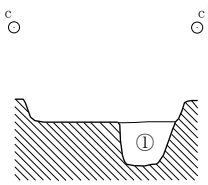
a-a' 土層説明

① 暗褐色土（10YR3/4） φ５mm 程度の小石２％ ゆるい
② 褐色土（10YR4/4）
③ にぶい黄橙色土（10YR7/4） φ10cm ～ 30cm 程度の軽石５％ しまりあり



b-b' 土層説明

① a-a'①層と同じ
② a-a'②層と同じ
③ a-a'③層と同じ
④ 明黄褐色土（10YR6/6） ゆるい



c-c' 土層説明

① 暗褐色土（10YR3/4）

平面図及び断面図 （1：40）

調査地全景【南東より】

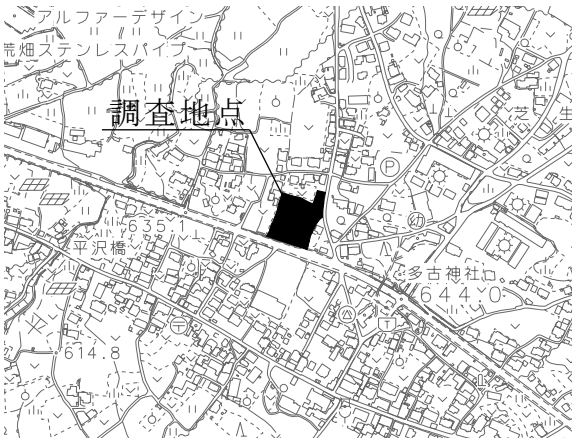
SB1【北より】

SB1、SK1【西より】

Tr1 北壁断面

試掘調査

上久根遺跡①

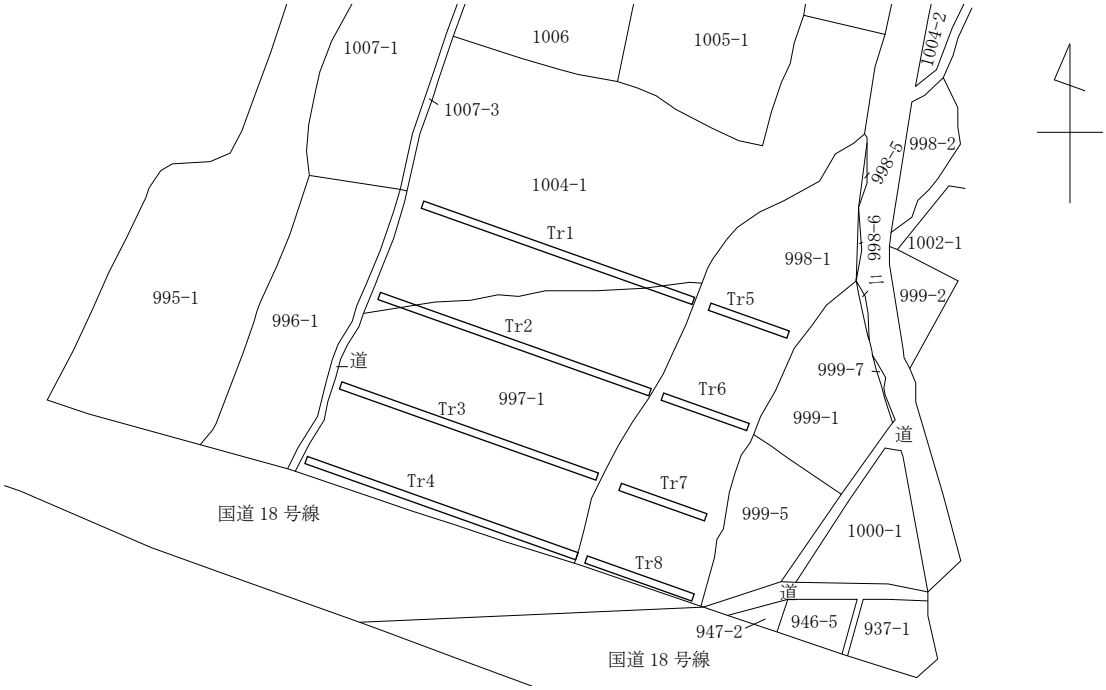


位置図　（1：10,000）

所在地　小諸市大字滋野甲字上クネ 997-1、998-1、998-2、1004-1
事業概要　太陽光発電設備設置
開発者　アネト株式会社
調査期間　令和元年４月 16 日
調査面積　200 ㎡
検出遺構　なし
出土遺物　なし
調査所見

太陽光発電設備に付属する浸透側溝を対象に試掘調査を実施する。

計画地盤は現況地表面より 50cm 程度のところで、耕作土内である。計画地盤で遺構の検出作業を実施したが、遺構は確認できなかった。また、遺物も発見できなかった。



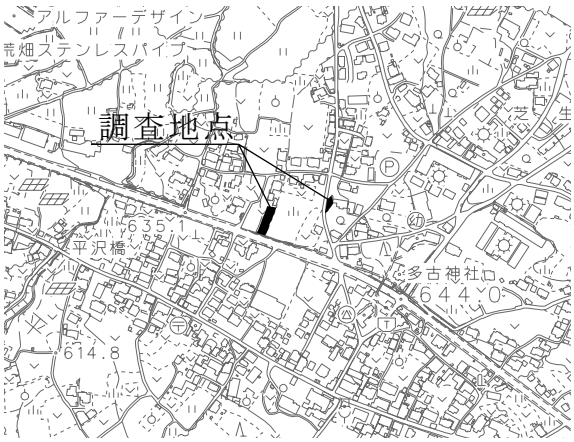
全体図　（1：1,000）

調査地全景【北東より】

Tr5【西より】

試掘調査

上久根遺跡②

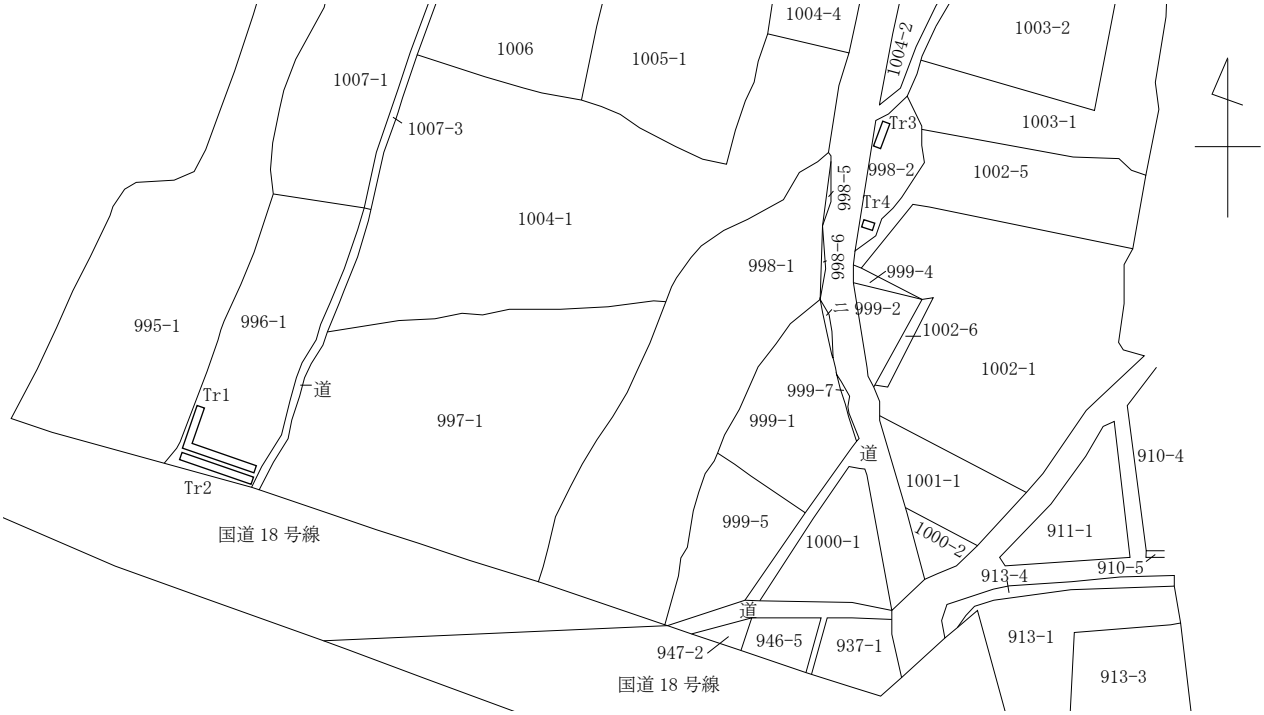


位置図　（1：10,000）

所在地　小諸市大字滋野甲字上クネ 996-1、998-2
事業概要　太陽光発電設備設置
開発者　アネト株式会社
調査期間　令和２年１月７日
調査面積　30 ㎡
検出遺構　なし
出土遺物　なし
調査所見

太陽光発電設備に付属する浸透側溝を対象に試掘調査を実施する。

計画地盤は現況地表面より 50cm 程度のところで、耕作土内である。計画地盤で遺構の検出作業を実施したが、遺構は確認できなかった。また、遺物も発見できなかった。



全体図　（1：1,000）

調査地東側全景【南西より】

Tr2【西より】

試掘調査

清水駅跡

所在地　小諸市大字諸字大門 327 番 1、丙字水押 399 番 4
事業概要　駐車場整備
開発者　株式会社いっちょう
調査期間　令和元年６月 13 日～６月 18 日
調査面積　118 ㎡
検出遺構　竪穴住居址２軒、土坑８基
出土遺物　縄文土器、須恵器、打製石斧、黒曜石チップ、チャートチップ

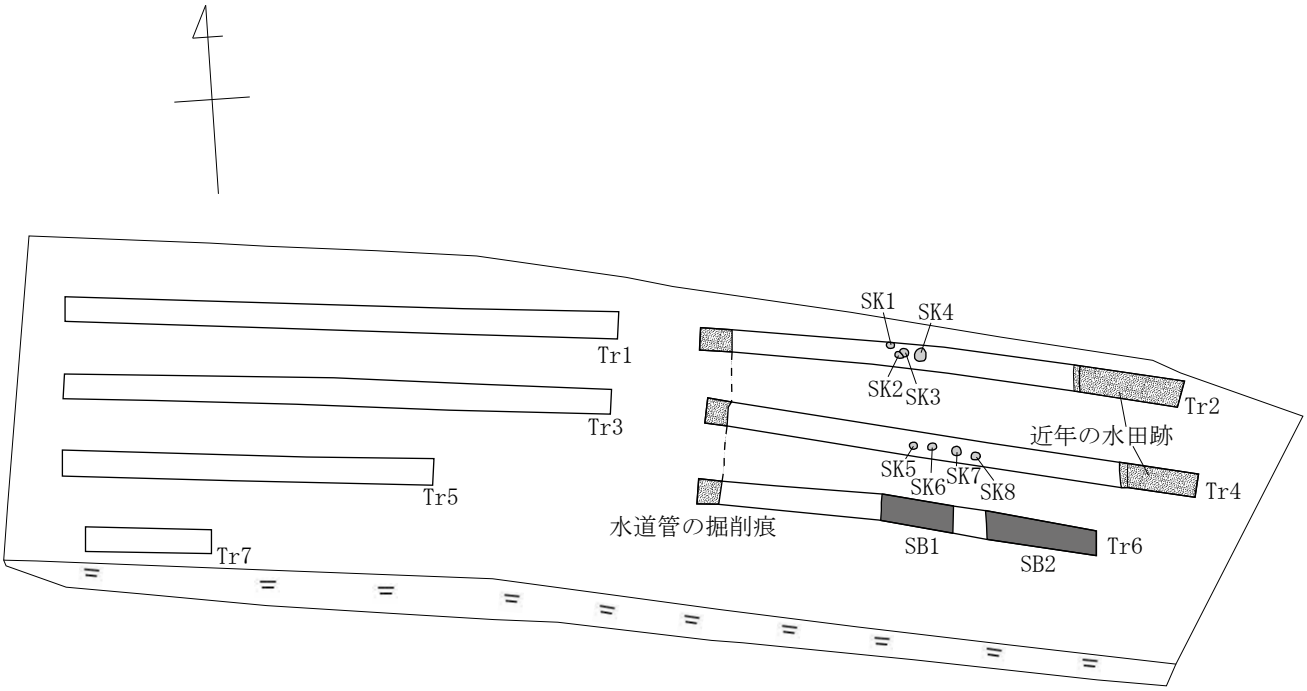
位置図　（1：10,000）

調査所見

調査地点の現況は畑地である。駐車場整備が予定されている箇所を対象に７本のトレンチを設定し、重機により掘り下げた。西側トレンチ（Tr1、Tr3、Tr5、Tr7）においては、耕作土下にφ 10cm ～ 20cm を中心に最大φ 70cm の礫を含む黄橙色の砂質層の堆積があり、φ１cm 以下の小石も多く、河川の存在が推定される。東側トレンチ（Tr2、Tr4、Tr6）においては、耕作土下に黒褐色のシルト質層の堆積があり、本層頂部で遺構プランが確認された。遺構の検出深度は現況 GL より 70cm ほど下である。

本調査では、東側トレンチから住居址、土坑が発見された。また、遺物としては、住居址を検出した Tr6 を中心に縄文土器、須恵器、打製石斧、黒曜石チップ及びチャートチップが発見された。縄文土器は、縄文中期のものである。

全体図　（1：500）



平面図　(1：300)

調査地全景【東より】

SK1、SK2、SK3、SK4 のプラン（Tr2 で検出）

【西より】

SK5、SK6 のプラン（Tr4 で検出）

【西より】

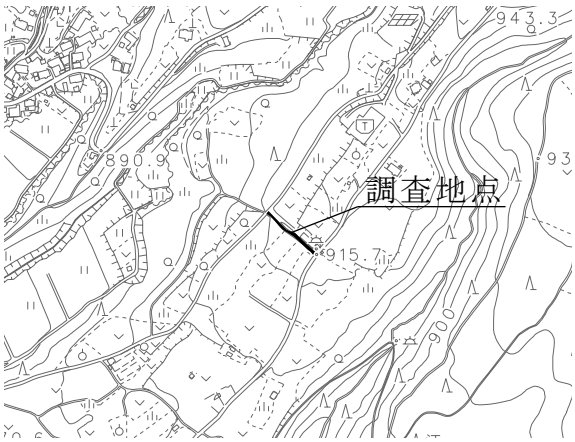
SB1、SB2 のプラン（Tr6 で検出）

【西より】

試掘調査

桃野城跡

所在地　小諸市菱平 456 番地先
事業概要　上水道減圧室・上水道管敷設
開発者　小諸市
調査期間　令和２年３月６日
調査面積　81.7 ㎡
検出遺構　なし
出土遺物　なし
調査所見



位置図　（1：10,000）

上水道減圧室の設置及び上水道管の敷設に伴い試掘調査を実施する。計画深度である2.1ｍまで掘削したが既存構造物（既存管）による搬入土内であった。遺構は確認できなかった。また、遺物も発見できなかった。

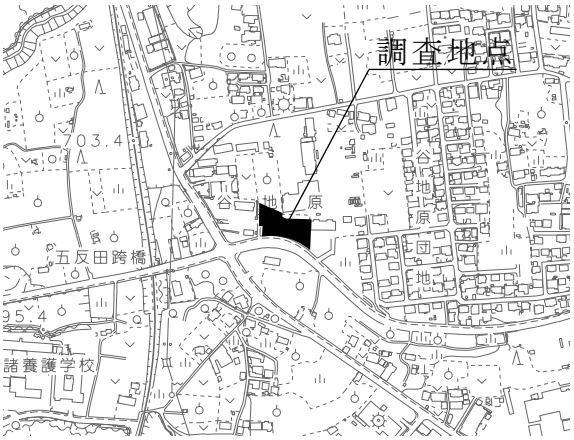
全体図　（1：1,000）

調査地全景【東より】

Tr1【北西より】

試掘調査

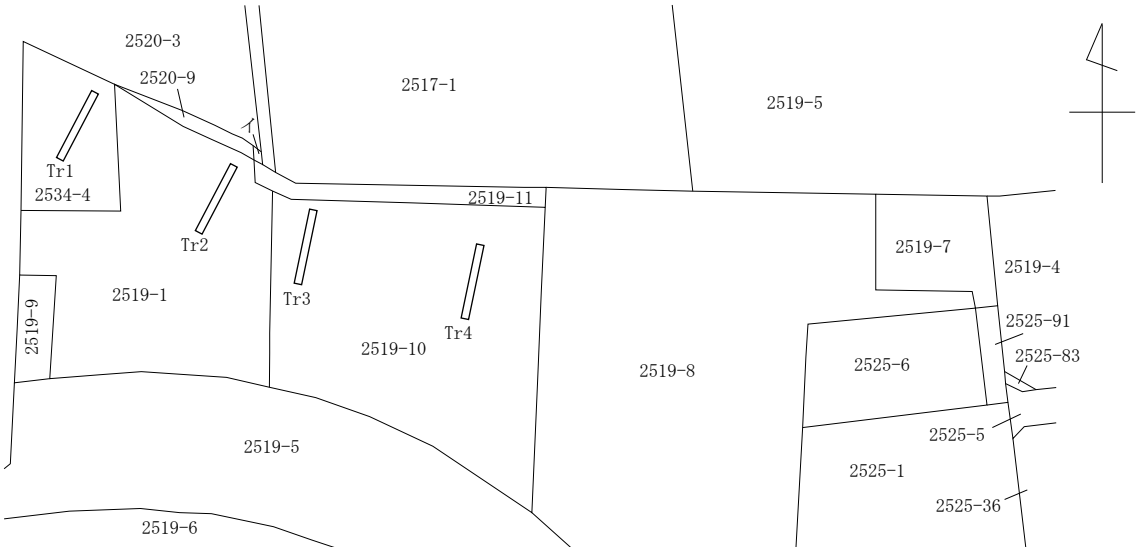
谷地原遺跡群①



位置図　（1：10,000）

所在地　小諸市大字御影新田 2519-1、2519-10、2520-9、2534-4
事業概要　集合住宅建設
開発者　大東建託株式会社
調査期間　令和元年６月 25 日
調査面積　40 ㎡
検出遺構　なし
出土遺物　なし
調査所見

谷地形が調査区の南にあり、南北方向にトレンチを設定し掘削したところ、南辺の３分の２は急傾斜で黒褐色土が堆積する状況が確認された。調査区西辺も谷に向かう傾斜となっており、台地の突端に該当する場所であると判断した。トレンチから遺構・遺物の発見はない。



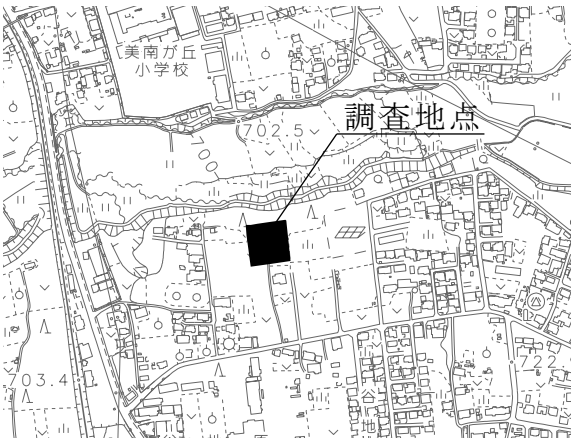
全体図　（1：1,000）

調査地全景【西より】

Tr2【南より】

試掘調査

谷地原遺跡群②



位置図　（1：10,000）

所在地　小諸市大字御影新田字谷地原
2508 番 2、2508 番 20
事業概要　宅地造成
開発者　有限会社あさひ不動産
調査期間　令和２年２月 14 日～２月 17 日
調査面積　201.5 ㎡
検出遺構　竪穴住居祉２軒、土坑２基
出土遺物　土師器
調査所見

宅地内道路予定地を含む開発予定地内に広くトレンチを設定し、重機により掘り下げを行った。基本層序は上から、Ⅰ層：耕作土層、黒褐色土層、Ⅱ層：褐色土層、Ⅲ層：浅間軽石流堆積層の順に堆積している。遺構確認をⅢ層頂部で行ったところ、調査区東側付近で住居址２軒、トレンチ１で土坑１基、トレンチ５で土坑１基が検出された。遺構の検出深度は現況 GL より 60cm ほど下である。

遺物としては、住居址及び土坑を検出した Tr5、Tr6 を中心に土師器が発見された。土師器は古墳時代のものである。

全体図　（1：500）

調査地全景【南東より】

SK1 のプラン（Tr1 で検出）【西より】

SK2 のプラン（Tr5 で検出）【南より】

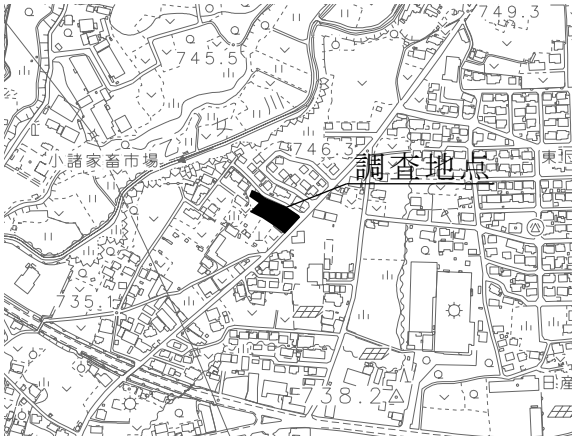
SB1、SB2 のプラン（Tr5 で検出）【西より】

SB1、SB2 のプラン（Tr6 で検出）【東より】

SB1、SB2 のプラン（Tr9 で検出）【西より】

試掘調査

柏木原遺跡群①

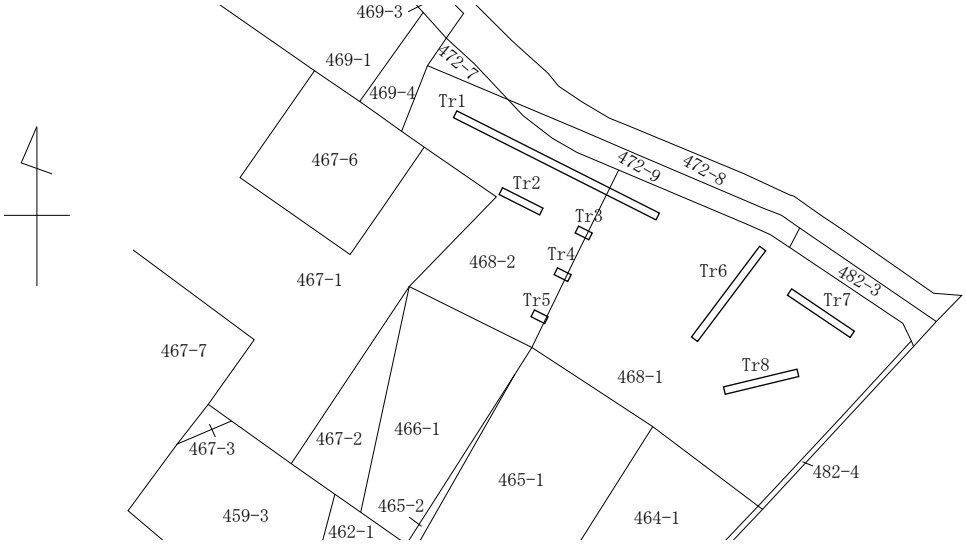


位置図　（1：10,000）

所在地　小諸市大字柏木字西前畑 468-1、468-2
事業概要　宅地造成
開発者　有限会社カツミ不動産
調査期間　令和元年６月４日
調査面積　62 ㎡
検出遺構　なし
出土遺物　なし
調査所見

宅地内道路予定地を含む開発予定地内に広くトレンチを設定し、重機により掘り下げを行った。現況地表面より 50cm ～ 150cm 下で軽石層に到達。南西に向かって著しく下る斜面となっている。本層上面で遺構確認作業を行ったが、遺構は確認できなかった。

掘削した層からはビニール片、ガレキ等が検出されており、調査地全面にわたり著しく攪乱を受けていることを確認した。地元業者より、調査地は、以前、建設会社の土場だったとの情報を得た。



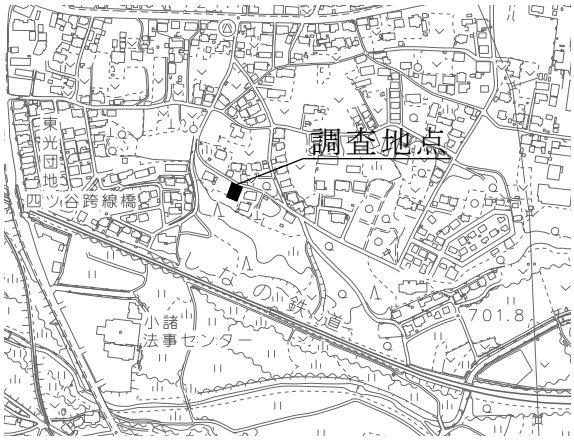
全体図　（1：1,000）

調査地全景【東より】

Tr1【東より】

試掘調査

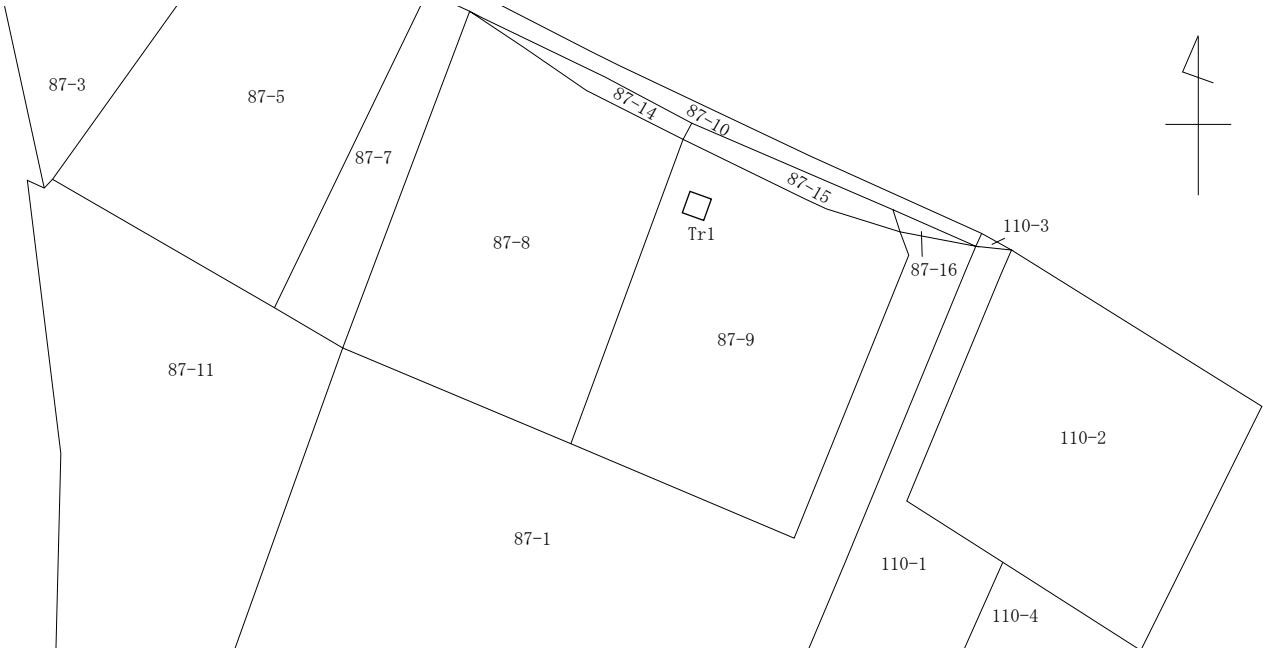
柏木原遺跡群②



位置図　（1：10,000）

所在地　小諸市大字柏木字大道下 87-9
事業概要　個人住宅建設
開発者　個人
調査期間　令和元年 7 月 30 日
調査面積　2.25 ㎡
検出遺構　なし
出土遺物　土師器破片
調査所見

調査区全体は傾斜地を平たんにするため盛土がなされている。基礎伏せは盛土内で完了するが、雨水浸透桝は遺構確認面に達する可能性があるため、確認調査を実施した。現況 GL より 90cm 下で浅間軽石流堆積層を確認。精査をしたが遺構は確認されなかった。表土内に遺物の混入はあったが、ガラス瓶の破片や帽子など現代のゴミも入っており、盛土自体、最近なされたものである。



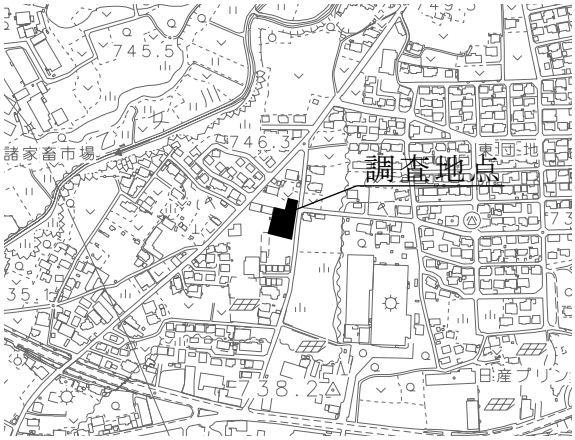
全体図　（1：500）

調査地全景【北西より】

Tr1【北より】

試掘調査

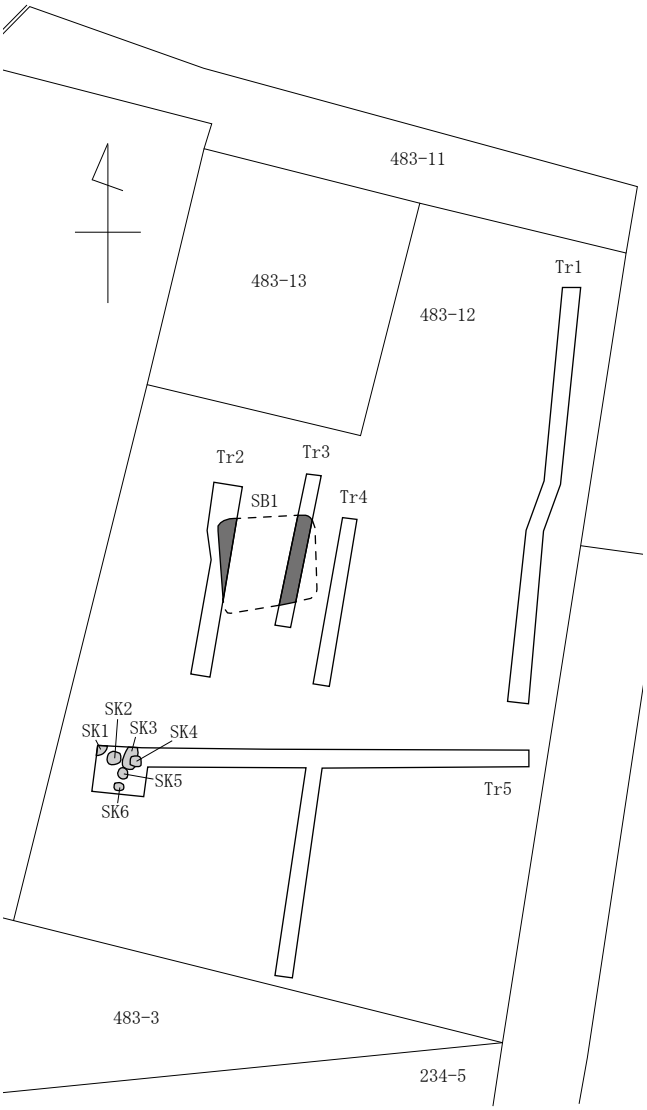
柏木原遺跡群③



位置図　（1：10,000）

所在地　小諸市大字柏木字東前畑 483 番 12
事業概要　宅地造成
開発者　有限会社あさひ不動産
調査期間　令和元年 10 月 4 日
調査面積　117 ㎡
検出遺構　竪穴住居祉１軒、土坑６基
出土遺物　土師器、石製品
調査所見

宅地延長道路予定部分、擁壁設置予定箇所を中心にトレンチを設定。調査区西側にて現況 GL 下 90cm ～ 110cm 地点で遺構及び遺物（土坑付近の埋土より出土）を確認。調査区は、西から東に向かって下る斜面となっている。調査区域は、全面的に上部に建設資材等のゴミが確認でき、東側では遺構確認面まで攪乱を受けている。また、調査区南側も、現況 GL 下 110cm の地点で既存擁壁設置時の砕石が確認でき、攪乱を受けている。



全体図　（1：500）

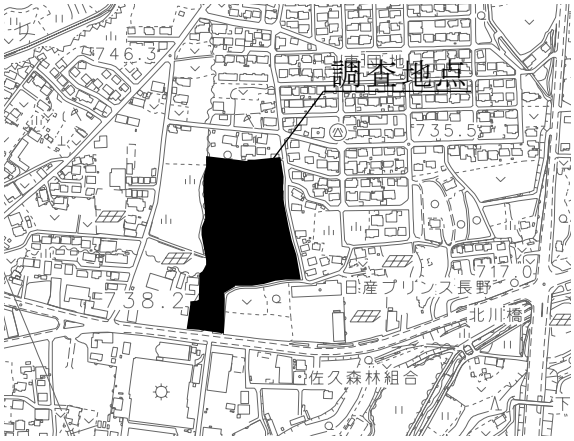
調査地全景（ドローン）【西より】

SB1 プラン（Tr3 で検出）【南より】

SK1、SK2、SK3、SK4、SK5、SK6 プラン（Tr5 で検出）【東より】

試掘調査

柏木原遺跡群④

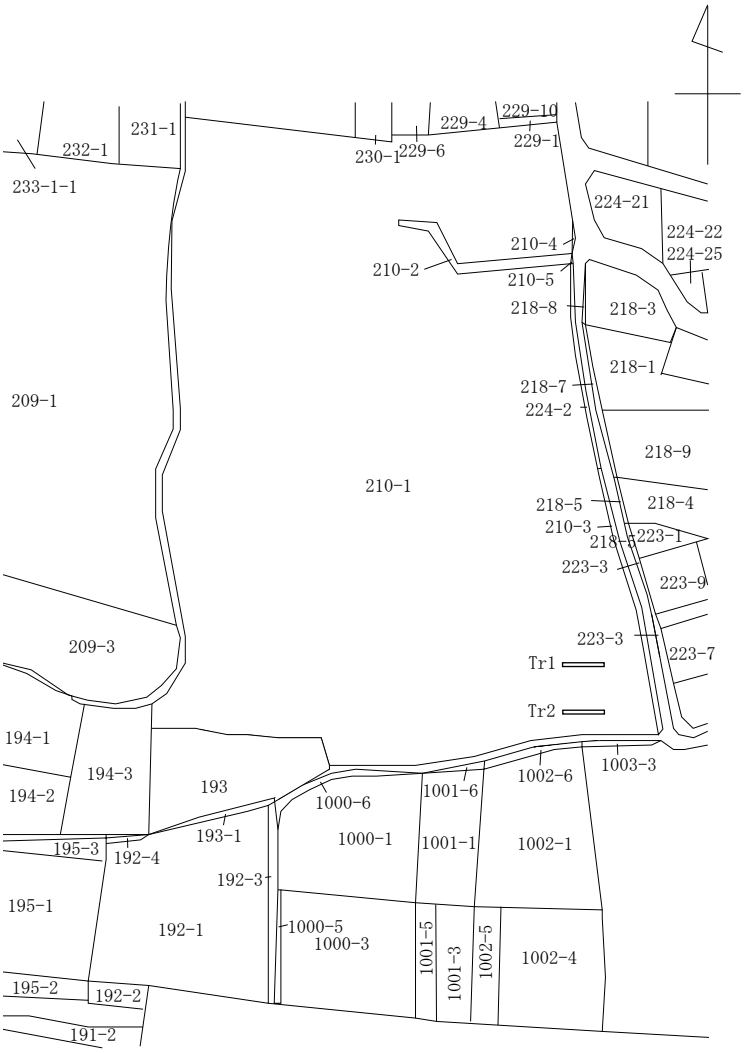


位置図　（1：10,000）

所在地　小諸市大字柏木字東大道下 192-1、192-3、193、193-1、210-1、210-2
事業概要　工場建設
開発者　株式会社小諸村田製作所
調査期間　令和２年１月 17 日
調査面積　22 ㎡
検出遺構　なし
出土遺物　土師器、須恵器
調査所見

工場の排水処理施設棟建設に伴い試掘調査を実施した。調査区に２本のトレンチを設定し、重機により掘り下げた。現況地表面より 60cm～150cm 下で浅間軽石流堆積層に到達。本層上面で遺構確認作業を行ったが、遺構は確認できなかった。

掘削した層からは塩ビ管や土管が検出されており、調査地全面にわたり著しく攪乱を受けていることを確認した。



全体図　（1：2,000）

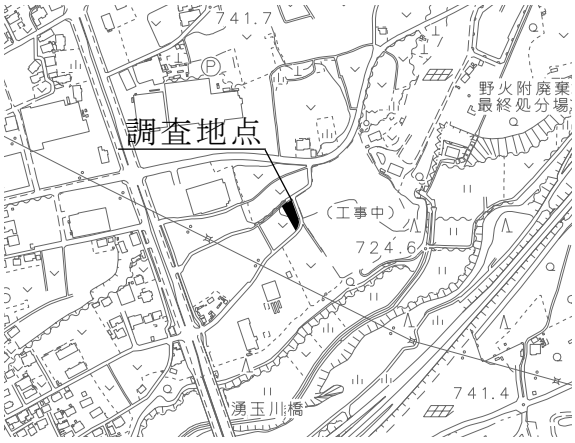
調査地全景【北西より】

Tr1【東より】

Tr2【西より】

試掘調査

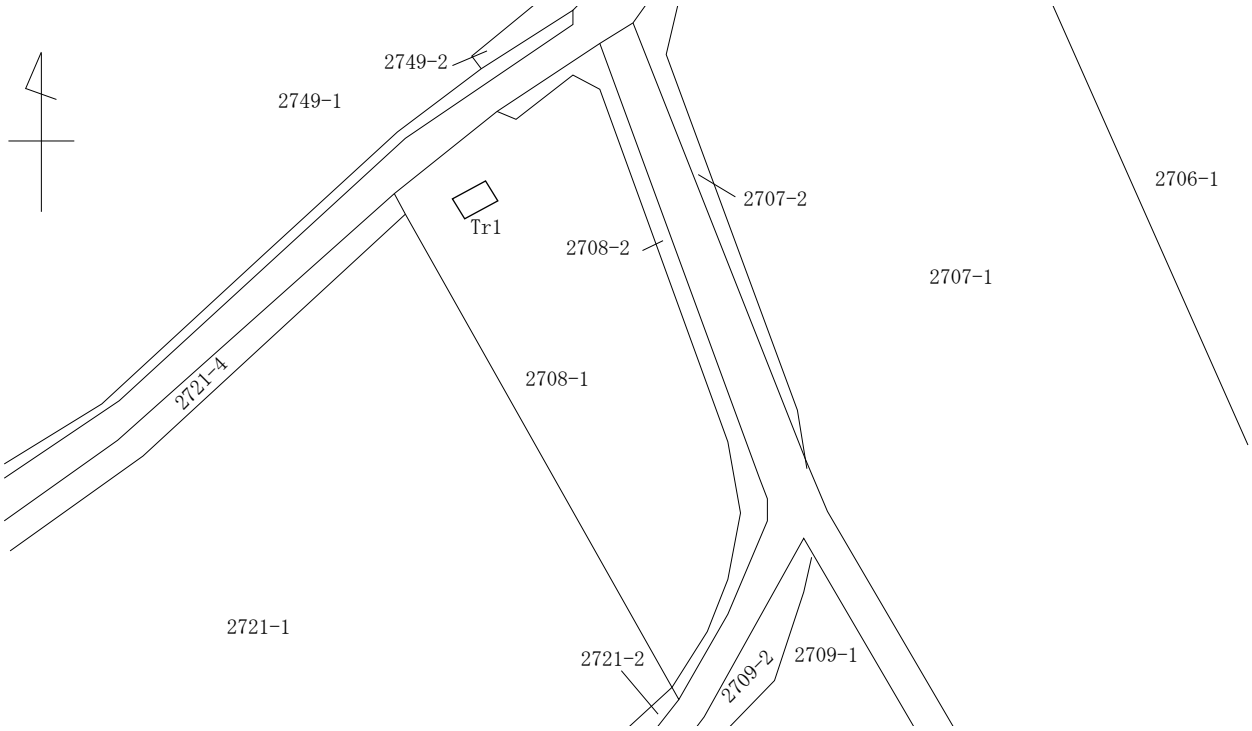
和田原遺跡群①



位置図　（1：10,000）

所在地　小諸市大字御影新田字和田原 2708-1
事業概要　個人住宅建設
開発者　個人
調査期間　令和元年６月３日
調査面積　3.5 ㎡
検出遺構　なし
出土遺物　なし
調査所見

個人住宅の建設に合わせて試掘調査を実施する。基礎掘りは狭小のため立会とし、浄化槽を試掘調査の対象とした。現況 GL より 40cm 下で浅間軽石流堆積層に到達。本層頂部で遺構確認作業を実施したところ土坑を確認したが、耕作土が入っており、攪乱と判断した。



全体図　（1：500）

調査地全景【東より】

Tr1【南より】

試掘調査

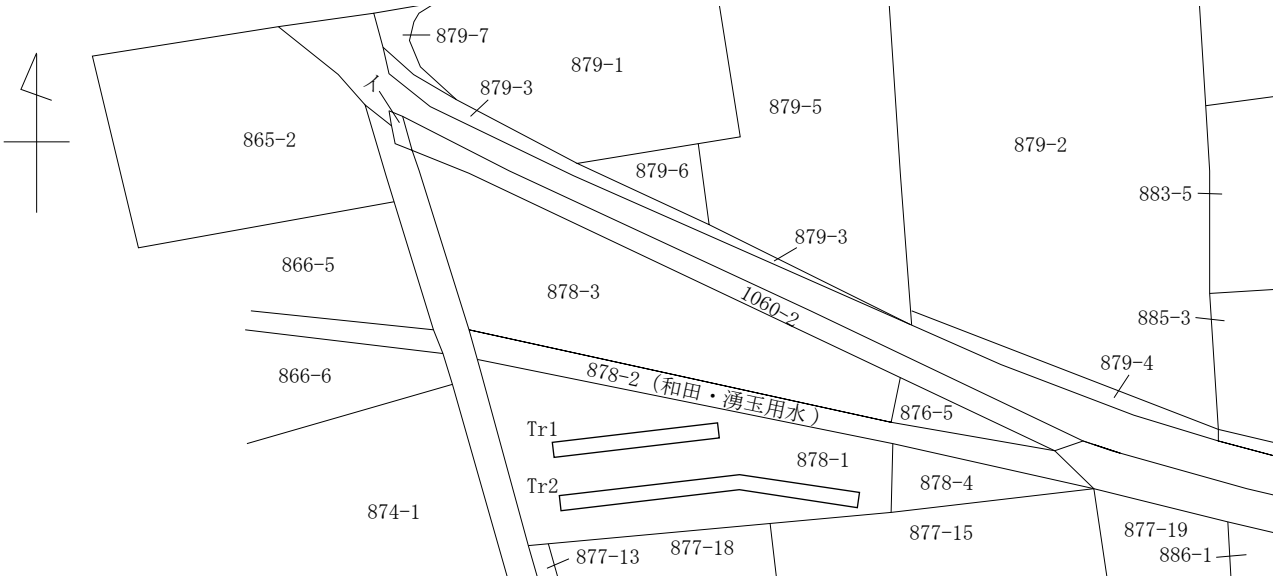
和田原遺跡群②

位置図　（1：10,000）

所在地　小諸市大字和田字鷲林 878-1、878-2、878-3
事業概要　駐車場整備
開発者　株式会社図南
調査期間　令和元年 10 月 21 日
調査面積　30.5 ㎡
検出遺構　なし
出土遺物　なし
調査所見

駐車場整備が予定されている箇所を対象にトレンチを設定し、重機により掘り下げを行った。基本層序は上から、Ⅰ層：黒褐色土層、造成土層、Ⅱ層：褐色土層、Ⅲ層：浅間軽石流堆積層の順に堆積している。遺構確認をⅢ層頂部で行ったところ、調査区東側付近で土坑らしきものが検出されたが、現代の園芸支柱が確認されたことから現代のゴミ穴と判断した。

遺物は検出されなかった。



全体図　（1：500）

調査地全景【西より】

Tr2【西より】

報告書抄録

ふりがな	しないいせき
書　名	市内遺跡 2019
副書名	令和元年度小諸市内遺跡発掘調査報告書
シリーズ名	小諸市埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ番号	45
編著者名	髙橋陽一、星野保彦
編集機関	小諸市教育委員会
所在地	小諸市相生町三丁目３番３号
発行年月日	2024 年３月 27 日

小諸市埋蔵文化財発掘調査報告書　第 45 集
市内遺跡 2019　令和元年度小諸市内遺跡発掘調査報告書

発行日　2024 年３月 27 日
編　集　〒 384-8501　長野県小諸市相生町三丁目３番３号
小諸市教育委員会
発　行　小諸市教育委員会
発行所　〒 384-0026　長野県小諸市本町二丁目１番４号
ヨダ印刷サービス株式会社